

平成 29 年 3 月 3 日

**公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録（3 月期）**

【出席者】（敬称略）

濱田、石丸、岡部、沖津、片桐、木村、葉木、若笠、事務局天寺
澤野委員長、森村会長補佐

1. 濱田代表理事 挨拶

28 日に福島県沖で震度 5 弱の地震があった。東日本大震災の余震と思われる地震がまだ続いている。まだまだ気が抜けない。

先日、座間で聴覚障害者を対象に「当事者講座」を実施した。これまで、災害時に障がい者を支援者として支援する方法の講座は数多くあるが、実際には支援者も高齢化していて、支援できない現実もある。身体障害者であっても、自助・共助をしっかりと認識してもらうことが重要であり、それが基本であると考えている。このことは、我々がしっかりと発信して伝えていかなければならないと思う。何よりも「自分たちが一番最初に助けられるんだ」という思い込みは訂正していかねばならない。そういう思いをもって講座を実施してきた。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

添付資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

添付資料「運営委員会議事」のとおり。

- 第 4 回定時社員総会では、運営委員の集合は 12 時 30 分。受付および LIFE 教科書の頒布を担当する。
- 各委員は会員に総会返信はがきの提出を周知すること。
- 専門部会の再構築についての議論を行った。名称を「SL 企画セミナー」とし、SL が企画するセミナーであることを表記する。

初回セミナーは「震災と要配慮者の問題」をテーマに連続セミナーとして実施。第 1 回は外部講師（日本赤十字看護大学の小原真理子教授）を招き、講座とする。それを受けて、第 2 回目は地域の実情や、地域で実施するためのアイデアなど、ワークショップ形式で意見交換会を計画する。企画者は葉木 SL

4. 各地域の活動報告

今期より、事前に地区運営委員から月次活動報告と次月活動予定を事務局に提出。事務局が取りまとめて配付することとなった。

添付資料「2017 年 2 月活動報告・活動予定【千葉県】【神奈川県】【埼玉県】」のとおり。

【次回の開催日】 4 月 7 日（金）13 時 30 分～

2017年2月の事業報告と今後の予定

(3月3日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・2/5 千代田区長に石川雅己氏再選
- ・2/13 マレーシア空港で金正男氏殺害

1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度5強以上,首都圏は震度4以上、内閣府掲載)

日 時 震 央 M 深 さ 最 大 場 所

2/28 福島県沖地震は震度5弱

イ 風水害(内閣府の災害情報掲載を主に対象)

- ・2月9日からの大雪による被害状況等について

ウ 事故等

- ・2/16 埼玉県三芳町倉庫火災 22日9:30 鎮圧

海外 ア 地震(USGC発表、日付は現地、M7以上又は報道等で犠牲者多数)

イ 風水害

ウ 事故等

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

[内閣府]

- ・1/31 「避難勧告等に関するガイドライン」の改定について

[気象庁]

[文部省]

イ 自治体

- ・3/6 千代田区帰宅困難者訓練

ウ 被災地状況

熊本地震

- ・2/21 熊本県庁発表 計204人(死者50人、関連死149人、豪雨関連死5人)

東日本大震災

- ・2/28 復興庁 避難・転居者数 12万3168人 前月比 - 3,755人 2/13付

1-4 災害ボランティア等の動き

- ・2/11-13 濱田、天寺等が熊本県で活動

1-5 注目すべきメディアと書籍等

ア TV [NHK] 東日本大震災6年

- ・3/5 あの日引き波が、行方不明者2556人
- ・3/10 15歳、故郷への旅
- ・3/11 “仮設6年”は問いかける シリーズ 東日本大震災
- ・3/11 帰還～原発事故6年 福島で何が シリーズ 東日本大震災

イ 書籍 新刊

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア 全体的な到達点

・S L 講座 9,481 人 公認講座 2,230 人* 計 11,711 人 1/31 現在

イ 本部主催のS L 養成事業

- ・[開催] 首都圏 100 期立教 2/23-24,3/3
- ・[開催] 神奈川講座 相模原県央 3/1-2

ウ 大学等受託のS L 養成事業

- ・[報告] 富山県大学連携講座(単位) 2/21-24

エ 災害ボランティアリーダー等養成事業

オ 講座改革

B、防災 / 減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

イ 本部受託等の事業 (委員長講演分)

ウ 他主催の事業への協力

エ 他主催の事業情報

C、S L ネットワーク / 災害ボランティア活動報告

ア 会議等

- ・[予定]3/25 総会

イ 全体報告

- ・[検査]3/15 内閣府立ち入り検査

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業 (防災訓練事業)

ア 到達点 2016 年 累計約 632 万人、世界で 5580 万人

イ 重要 気象庁、内閣府、消防庁連携

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン・内閣府共催事業

- ・[報告]2/18 最終報告会

イ 防災教育普及協会事業

- ・[予定]3/12 防災教育体験 そなエリア

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・[各地]学校での防災教育支援

C、防災研究事業

- ・[報告]2/14 防災科研成果報告会 東京国際フォーラム

- ・[報告]2/27 都市減災 P サブプロ 3 最終報告会 全国町村会館

- ・[予定]3/14 都市減災 P 最終成果報告会 東大

3、事務局等

A、広報 ・ ニュースレター 発行 隔月 25 日

以上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク

運営委員会 議事

1 理事会報告事項

1.1 第4回定時社員総会について

日時：2017年（平成29年）3月25日（土） 13時00分～（会場は16時まで予約）

場所：市ヶ谷TKPカンファレンスセンター カンファレンス6A

12:30	運営委員集合・会議室設営準備	
13:00	受付開始 LIFE教科書の頒布の案内(司会)	受付担当：
13:15～13:50	第1部 第4回定時社員総会開会 【承認事項】2016年収支決算報告、2017年事業計画案、2017年収支予算案 【報告事項】2016年事業報告	司会：仁藤 議長：濱田、報告：天寺
13:50～14:00	部会についての報告（ ） 東京ネット紹介（市川SL）	
14:00～14:10	休憩	プロジェクター、PC設置
14:10～15:40	第2部 防災講演会 「生活再建への道のり～法律とお金の実際のお話」(仮) 講師：岡本正 弁護士	
16:00	退室・解散	

*会場内にてLIFE「命を守る教科書」を頒布。SL頒布価格：1500円（税込み）

1.2 議案についての報告

- 2016年収支決算報告
- 2016年事業報告・活動年表

1.3 規則・細則について

- 災害対応積立金運用規則
- 定款20条代理権を証明する書類に関する細則
- 地区運営委員会（県ネット）運営補助金に関する指針

2 専門部会についての企画提案

添付資料「年間計画(案)」・「葉木SL企画書」

3 運営委員の地域報告

別添「月次報告・予定表」

4 次回運営委員会

2017年4月7日（金）13時30分～